



令和7年4月21日、熊本保安部が令和7年度新体制となったことから、吉田茂 新熊本保安部長から職員に対し、訓示を行いました。

令和7年度 前期活動ダイジェスト
発行：公益財団法人 海上保安協会熊本県支部
編集：熊本海上保安部 TEL0964-52-3103

恋龍祭・みなまた港フェスティバル2025

令和7年5月31日、「第70回恋龍祭・みなまた港フェスティバル2025」において、巡視艇あそぎりででの体験航海及び海上保安展（制服試着、VR体験、学生募集活動）を実施しました。
また、鹿児島航空基地所属ヘリコプター、MH976がオープニングイベントの際、颯爽と登場し場内を盛り上げました。



右から重原和仁 八代海上保安署長、吉田茂 熊本海上保安部長、金子恭之 衆議院議員、高岡利治 水保市長、吉永和世 熊本県議会議員、佐藤鉄志 九州地方整備局熊本港湾・空港整備事務所長、深水康之 水保商工会議所会頭



熊本海上保安部長挨拶

皆さまこんにちは、本年4月15日付で熊本海上保安部長を拝命しました吉田茂（よしだしげる）です。

出身は福岡県福岡市、前任地は第十管区海上保安本部のある鹿児島から参りました。

ここ熊本での勤務は初めてとなりますが、祖父母と父が天草市出身であり、幼少の時にもよくきたところです。これも何かのご縁と思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



熊本海上保安部長 吉田 茂

また、改めてであります。日頃から私共の海上保安業務にご理解をいただき、熊本県内に位置する熊本海上保安部、天草海上保安署、八代海上保安署それぞれに多大なるご支援・ご協力をいただいておりますことに、心より感謝を申し上げます。

日々の業務に当たる個々の海上保安官にとっては、各種会議や合同訓練等において直接に地元の皆さまからのご声援、ご支援が何よりの励まし・心の支えとなっています。

さて熊本海上保安部管内の状況ですが、有明海や八代海における海難発生状況は、過去5年間でみると全体としてやや減少傾向となっておりますが、それでもプレジャーボートの海難は高止まりしており、引き続き地道な海上交通安全対策や海難防止・救助が、我々の変わらぬ課題であると認識をしております。

加えて地震・津波、豪雨などの自然災害への対応も重要な課題です。今年は令和2年に人吉で発生した豪雨災害から5年、また来年は平成28年に発生した熊本地震から10年の節目となるところ、今年8月には県内各地で豪雨災害により大きな被害が出ています。機会あるごとに必要な備えを呼び掛けるとともに、皆さまと認識を共有していきたいと思っております。

熊本の美しく豊かな海、そして皆さまの安全・安心を守るため、海上保安部署職員一同が「オール熊本海保」として一丸となり、日夜、努力を続けてまいりますので、皆さまの変わらぬご指導・ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



令和7年熊本県海運組合通常総会 出席



JCPFD 改め CMF 五機関意見交換会 出席



海上保安庁では、「海の日」にあたり、「海」に関わる人々の中で、多年にわたり業務や活動に精励または貢献された方々を表彰しています。受賞者は海上保安庁長官表彰1名、第十管区海上保安本部長表彰1名、熊本海上保安部長表彰3名で、三角防災拠点センターにおいて表彰式が執り行われました。



《海上保安庁長官表彰》

河村 邦比兒 氏

(株) 熊本日日新聞代表取締役会長

海上保安友の会熊本地方支部長として同友の会の円滑な運営に努めるとともに、海上保安思想の普及に貢献されたことに対して熊本海上保安部長から表彰伝達されました。



《熊本海上保安部長表彰》

堀江 隆臣 氏

(上天草市長)

(公財)海上保安協会熊本県支部副支部長として協会業務を通じ当庁業務である海難防止、海洋汚染防止活動及び海上保安思想の普及などに対して熊本海上保安部長から表彰されました。



《熊本海上保安部長表彰》

甲斐 洋彦 氏

海上安全指導員として熊本県沿岸海域において海難防止活動に従事し、プレジャーボート等の海難防止、海上交通安全思想の普及などに対して熊本海上保安部長から表彰されました。



《熊本海上保安部長表彰》

齊所 敬三 氏

海上安全指導員として熊本県沿岸海域において海難防止活動に従事し、プレジャーボート等の海難防止、海上交通安全思想の普及などに対して熊本海上保安部長から表彰されました。

《第十管区海上保安本部長表彰》

田代 龍也 氏

海上保安協会熊本県支部会計監事として、協会事務を通じ、海難防止、海洋汚染防止活動及び海上保安思想の普及並びに当庁職員の福利厚生等の助成等などに対して第十管区海上保安本部長から表彰されました。当日は所用のため欠席されています。



灯火監視協力者 竹中さんと勇退

「唐網代鼻灯台」「天草港与
一ヶ浦防波堤灯台」の2灯台
監視協力業務を約20年の
た竹中勝征さんが、令和7年
7月4日をもって、令和7年
れました。第十管区海上保安
本部交通部長及び熊本市保
安部長から感謝状を伝達し
まされた。ご家族立会いの場
ご本人は「満面の笑顔でござ
いまして。花道を飾る、温か



海上保安業務



令和7年4月18日、新年度となり熊本県として災害対応業務に習熟するため、熊本県防災センターにおいて、山間部での豪雨災害を想定とした訓練を実施しました。訓練には、熊本県のほか各自衛隊・警察・消防・海保・気象台も参加し、関係機関との連携強化、各機関の防災対応における業務説明がありました。



令和7年5月21日、熊本県防災センターにおいて豪雨対応訓練を行いました。この訓練は、今年も1月から始まり、計7回の訓練を実施しました。関係機関との連携強化を図り、梅雨時期の災害対応の体制を整えることができました。



令和7年度宇土救難所訓練



消防職員による結索指導

救命索発射銃実射訓練

令和7年7月6日、宇土マリーナにおいて、宇土救難所に「救命索発射銃の注意事項」「身近なものを利用した救助手法」について指導を行いました。宇土救難所の救助技術は高く、本訓練には消防職員も参加したことで、官民連携した救助体制の緊密化にもつながりました。

遊漁船業者に対する救助訓練



令和7年7月8日、熊本県上天草市大矢野町所在のフィッシャリーズフィッシャリーズ敷地内において、熊本県内遊漁船業者に対し、近年における船舶事故概要の説明及び救命浮環の投てきを実施しました。カラーコーンを海中転落者と見立てて、海中転落者救助を意識した訓練を実施することができました。

漂着ゴミ調査



令和7年6月21日、天草海上保安署は、牛深海洋少年団、もぐし海のこども園及び牛深海守会等で茂串海水浴場で漂着ゴミ調査を実施しました。総重量約150kgのゴミを回収し、海岸のクリーンアップを行いました。

- 安全推進活動 -



熊本運輸支局との小型旅客船に対する安全指導



PBIに対する安全指導(くまかせ)



令和7年度春季大型連休安全推進活動



令和7年度海上安全指導員連絡会議

みすみ港祭り



令和7年7月26日、三角東港にて、「第30回海の日協賛 みすみ港祭り」が開催され、熊本海上保安部では、海上保安ブースや巡視艇ひごかせ体験航海を行いました。体験航海では、多数の申込みの中から抽選で、計5回の93名に乗船頂きました。乗船されたみなさんからは、「楽しかった!また乗りたい!」との嬉しい言葉を頂き、大盛況となりました。

牛深海洋少年団に対する体験航海



巡視艇あそぎり乗船式

令和7年7月24日、天草海上保安署は牛深海洋少年団（乗船者数子供34名、引率者3名）に対し、巡視艇あそぎりによる体験航海を2回に分けて実施しました。航海中は、皆興味津々で目を輝かせながら双眼鏡を覗くなど楽しんでいる様子でした。



学生募集活動

母校向けメッセージチラシを作成しました。



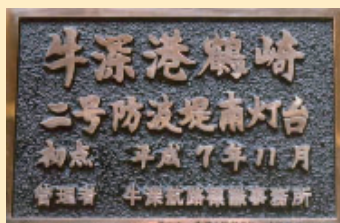
令和7年6月25日、熊本県立熊本西高等学校において、熊本海上保安部長から校長先生（写真右）へ学生募集のトップセールスを行いました。今回同行した八代海上保安署 内田さん（写真中央）は、在学中、校長先生が当時野球部の顧問をされていたことから、恩師訪問とOBによるPRを合わせて訪問したものです。



令和7年7月9日、熊本県立済々黈高等学校において、熊本海上保安部長から校長先生へ学生募集のトップセールスを行いました。同校は多くの卒業生が海上保安大学校へ進学している実績のある高校で、毎年訪問して直接校長先生へ学生募集を行っています。



熊本海上保安部では、146基の航路標識を管理していますが、灯台や灯標などに「記念額」と呼ばれる、表札の様な物がある事をご存じでしょうか。



記念額 (青銅鑄物)

牛深港鶴崎

二号防波堤南灯台

初点 平成7年11月

揮ごうして頂いた原書

記念額には、灯台が初めて点灯した年月や、改築・移設した年月が記載され、その中には、小中学校の生徒さんから、揮ごうして頂いた字で製作された物もあります。

キツキ瀬
灯標

初点 平成7年11月

台甲港平国
二号防波堤灯台

初点 平成〇年〇月

赤瀬港
冲防波堤北灯台

記念額の材質は、青銅鑄物やステンレス、大理石と様々ですが、移設・改築する際は、それまで使用していた記念額を、灯台内部に設置する事が慣例となっています。



肥後兜島灯台 (上天草市)



室内設置の旧記念額 (大理石)



ミサゴ(別名:ウオタカ、烏網タカ目ミサゴ科ミサゴ属に分類される鳥類)



八代方面の航路標識点検に行き、八代港北防砂堤灯台を見上げると、2羽のミサゴが愛の巣作り真っ最中！
こりゃいかんと巣の撤去作業を実施しました。
撤去作業の間「ピー、ピー、、」というミサゴの悲しい鳴き声上空にこだましていました。
ごめんねミサゴ。